序

２１世紀を迎え、少子高齢化、国際化や高度情報化、科学技術の進展など、社会環境が大きく変化する中にあって、国においては様々な教育改革が進められています。

本市におきましては、昭和５６年に生涯教育の立場に立った市民参加による「足利市の教育目標」が設定されて、はや２０有余年を迎え、２１世紀を展望して設定されたこの「足利市の教育目標」具現推進のため、様々な事業や施策を展開しております。また、学校や家庭、地域社会をはじめとした様々な教育の場においても、足利の風土に根ざした教育が展開され、足利学校のあるまち足利に教育尊重の気運の醸成が図られているところであります。

当教育研究所におきましては、これら様々な教育の場における優れた研究や実践の成果を紹介し、教育に携われている方々の教育観を深める一つの契機に、あるいは各教育現場における日々の実践の参考としていただけるよう、ここに「平成１８年度教育研究所研究集録」を刊行いたしました。

今回紹介いたします内容は、学習指導教材センターの部については、算数・数学科教材開発専門部と、理科教材開発専門部の２編、研究員研究の部については、メディアリテラシーと適応指導プログラムの２編、研究学校の部については、御厨小学校からの人権教育についての１編であります。

これらの研究は、生涯学習の立場に立った研究であり、教育の今日的課題についての研究でありますので、皆様方の研究実践の参考に資するものと考えます。これらの成果を充分活用されますとともに、さらに一層この方向の研究を進展されますよう期待いたします。

最後に、本集録の作成に玉稿を寄せていただきました皆様に対しまして心から敬意と感謝を申し上げます。

平成１９年３月

足利市立教育研究所長

上　村　和　章